

4－（１）体育指導法講習会

担当 有働 秀樹

1. はじめに

県中学校体育研究会では、体育指導者の資質向上を図るために、毎年、体育指導法講習会を開催している。今年度は、体育の授業だけでなく、部活動や中体連陸上大会・駅伝大会等での指導にも役立てることができるようにと、陸上競技に関する指導法を学べる機会を提供しようと考えた。講師には子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に陸上競技を指導している守田さんを招聘した。中学生の時期に必要な運動の種類や方法、指導法について理解するだけでなく、私たち体育の教員自身が、実際に体を動かしながら、生徒の立場になって学べる時間にしようと考えた。

2. 講習会の概要

(1) 期 日 令和3年7月29日（木）

(2) 会 場 益城町総合体育館

(3) 講習内容

- 指導者：守田 浩一（もりた こういち）氏
株式会社FirstStep 代表取締役
- 指導対象：熊本県中学校体育研究会会員（県下保健体育教師）
- 講習内容：陸上競技
テーマ：「授業に生かせる陸上競技の動きづくり」
 1. ウォーミングアップについて
 2. 短距離走（スプリント）について
 3. リレーについて
 4. 質疑応答・トレーニング紹介

3. 受講者の感想

- 陸上中体連の指導に悩んでいたもので、とても参考になった。
- 技能面だけでなく、生徒への声かけの仕方も学べたのでよかった。
- リズムジャンプは大変勉強になった。体育の授業の導入でも取り入れたいと思う。

4. 終わりに

講習会終了後のアンケートを見ると、「指導する際に必要なことは、技術面はもちろんだが、前向きな気持ちや明るさも大切だということを再認識した」、「講師の指導を受けて、一つ『できる』ようになると、次の目標を目指したくなるように、どんどん前向きに考えることができるようになるのだと改めて感じた」といった前向きな意見が多く、参加者にとって大変有用感の高い研修になったと感じる。しかし、裏を返せば、私たち教師は、普段は有用感のある研修を受けていないのではないかと考えることもできる。今後も、中体研では教師のニーズに応えた講習の機会を提供し、未来を担う生徒たちのために、さらに研究を深めるための手助けをしていかなければならないと考える。